

# 週刊すず辰<sup>たつ</sup> (第359号) 令和1.9.30

火曜だけ18:30まで。

◆ちよつとまじめな話:小学生からブテない! ? ◆

今週も、“すず辰(すずたつ)”が厳選しました農家さんの野菜(果物)たちをお買い上げいただきありがとうございます。ぜひおいしいもの好きなお友達・お知り合いにもお声かけください。お客様の輪が八百屋の力になります。

## ●今週のピックアップ商品○(来週もあります。)

### 酒の肴に最適な枝豆。

新潟の枝豆もいよいよ最後の品種です。その名も、「肴豆(さかなまめ)」。酒の肴に最適な、といった意味合いで、香りよくコクあり、思わずビールや日本酒がほしくなる、そんな枝豆です。10月上旬で出荷終了に。あと1週間前後、枝豆をお楽しみください。



### 大粒の落花生“おおまさり”。

先日の台風後でいろいろ被害が出ていた千葉の館山から大粒の生落花生が入ります。その名も、“おおまさり”。「なま」用の品種で、塩ゆでしてたべると通常の落花生より二回りくらい大きいので、食べごたえあり、フレッシュな香りと甘みがより楽しめます。収穫時期の今だからこそその味。今週後半、再入荷予定。短い旬ですが、お試しあれ。



## ▲すず辰のこぼれ話▽ 次の京とうふは10/1、3、5、8、10、12です。

### ひざが…

最近自転車が乗れるようになった次男。とにかく楽しいのか、隙あらば「じてんしゃ、のる!!」と宣言。と言っても、見てやれるのは朝か夜となりまして。

この前の夜も帰宅後の21時頃につき合わされ、次男の自転車の後をランニング。だんだん速さになれてきて、スピードの増す次男。追っかけるのも大変です。

(古傷の右ひざが少し痛し。。。父はついていけるでしょうか)

と思っていきましたら、日曜のイベント出店で、逆の左ひざが明らかに痛くなりました。右ひざをかばったから? ケアしつつ、少し鍛える必要があります。

先日、小学校時代の友人Mくんから、野菜セットの注文を受けました。彼とは山口県下関市にいた小1の2学期から小5の1学期以来会ったことはなく、フェイスブックというネット上のコミュニティサイトを通じて26年ぶりに連絡を取るようになった間柄です。

注文を受けた時の彼の言葉にちょっとびっくりしまして。「あのターボが選ぶ野菜ってか食材ってか、ずっと食べてみたいと思ってるんよね～あの勉強熱心なターボのことやから絶対美味しいと思って! 両親も食べたがっどるんよ! あの子が選ぶんやったらきつといい野菜やろーって笑」(※“ターボ”は当時のあだ名です)

小学校時代は彼の家によく遊びに行っていて、ご両親にもかわいがってもらっていた淡い記憶はあるのですが、「えー、そんな前の頃の印象で信頼してくれるんや! ?」とびっくりしたわけです。

そういえば、似たようなことが。小5の2学期から、兵庫県尼崎市に引っ越したのですが、その時の友人Sくんとは、大学時代に一度再会したものの、その後音信不通に。実家が歯科医だったので、もしかして…、と昨年ふとネット検索してみたら、大阪で開業していたのを見つけたのです。その彼からもあるとき野菜の注文を受けたのですが、その時の彼の言葉。

『鈴木はんの野菜は、おばあちゃんやお母さんが握ったおにぎりに似てると自分は勝手に思う(笑)コンビニで買おうが、誰が握ってもおにぎりはおにぎりで一緒だが、やっぱり愛情が詰まってるから母の握るおにぎりが美味しく好きって感じかな。なので、絶対鈴木はんが送ってくれる野菜は美味しいのは当たり前、食べる和幸福な気持ちになると確信してます。勝手に(笑) (中略)鈴木はんの人柄、良い意味の親切心が野菜にも妹さんや同級生の婚活にも出てるし、人生そのものよねー。小学生の頃からブテない鈴木はん。最高です☆彡』

我ながら、“小学生の頃からブテない”のが強みのようです。旧友たちの信頼に応えるためにも、真摯に、初心を忘れず、あきらめずたゆまず頑張っていきたいと思います。「おいしさに真面目な」八百屋です。

すず辰マガジンがウェブで読めるようになりました↓



### 《すず辰について》

鈴木辰徳(辰年:43歳。12.9.7歳の3児の父)がH23に開業。「野菜で笑顔を結ぶ」をモットーに、作る人と食べる人の笑顔の架け橋となるべく、素敵な農家さん、野菜果物のおいしさ楽しさをご提案。路面での販売“マルシェすず辰”を経て、H25/3/25念願の店舗オープン! マンガ“八百森のエリー”絶賛応援中! 函館市本通1-24-3(店舗) 店前・店横駐車可。平日11時半・土曜12時半開店 17時閉店(日祝日休み) TEL/FAX:0138-76-9865 メール: [suzutatsu831@ncv.jp](mailto:suzutatsu831@ncv.jp) HP: <http://suzutatsu831.com/>

表の大阪のSくんと大学の思い出として。

## ◆ちよっとまじめな話:愛だろ愛っ!◇ (2015/2/23)

学生時代にふと抱いた疑問。「世界中に、飢餓や貧困で苦しんでいる人らがいるのに。自分は日本に生まれ、何不自由なく暮らし、そして今(大学生になって)なんとなく生きている。こんなんでいいのかな。」と。

最近だと、ISIS(いわゆる「イスラム国」)のことや、ウクライナの紛争、エボラ出血熱や、いろんな国のスラム街での貧困、そして飢餓。日本においては、震災での被害者の方々や、報道される家庭内殺人や自殺のことなどいろんな問題がこの世の中には渦巻いています。

学生当時の私は、死と隣り合わせの人がいるという現実に対し、自らを鑑みていたたまれなくなり、「日本人として生まれたこと」に罪悪感を持ってしまったのです。そんな中、10年ぶりくらいに再会した同級生Sくんといろいろ話した中で、以下のように吹っ切れました。

「自分たちの(相対的に)恵まれた状況を自ら卑下したり、否定しても何も始まらない。それよりも、その上でどれだけ自分らが「生きれるか」、「生を生き切るか」それが大事なんや。死と隣り合わせに生きる人がいることに思いを馳せつつ、まずは自分の人生を精一杯生きよう。」と。

そして今38にして思うのは、『身近な人に愛を』ってことです。1人の人間にできることは限られます。人は愛されないとき悪に走ります。卑近な例では、愛情不足に陥ると悪さをして親の関心を引こうとする我が子らのように。子供たちの場合は、時にぎゅーっと抱きしめる。女房にはたま〜に心から「いつもありがとう」と言う。ケンカをしたら仲直りする。近所の人と顔を合わせたらあいさつをする。元気がなさそうなら、「なんかあった?」と聞いてみる。お客さんには元気にあいさつする。自分が関われる人に少しでもあったかいものを届けられたらなあ、と思います。そういう意味では、「テロと戦う」=「世界中を愛で満ちそう」になると個人的には思っています。そういう、90年代「愛だろ、愛」ってCMがありましたね。

“私にできてあなたにはできないこともあり、  
あなたにできて私にはできないこともあります。

だから、ともに力を合わせれば、  
素晴らしいことができるのです。”

(マザー・テレサの言葉)

見たいと思う世界の変化にあなた自身になりなさい。

(マハトマ・ガンジーの言葉)

表の大阪のSくんの言葉にあった「婚活(支援)話」は以下を。

## ◆こぼれ話:出会いは探せばありました。◇ (2018/5/7)

大阪にいる8つ下の妹がついに結婚しました。実は新郎さん、私の大学時代のサークル仲間の旦那さんの会社の後輩さん。店主が縁をつなぎまして。

きっかけは、25年ぶりにネット上で再会した、中学の同期の子の婚活手伝い。東京で働いているというので、10年ほど前は東京にいた店主。軽く「何人が紹介できるで」と言うたところから、独身男性探しに(笑)。

年賀状やSNSを駆使して、東京時代の知り合いや高校大学の友人で東京で働いている(いた)人らに連絡しまくる。中には卒業以来の連絡が「いい人おらん?」なので、軽く怒られたり(笑)。その節は失礼しましたー!

で、延べ40人強に連絡したところ、10人くらいは候補が出てきて。同期の子は、そのうち3人会って、「あれ違う?」となったのですが、探せば出会いはあるな!、って確信が生まれまして。

そういえば、両親が下の妹の結婚相手が!、と騒いでたなーと思ひまして。じゃあ、大阪でも探してみるかと。

関西方面で15人くらいにお声をかけて、2人候補が出てきて。1人目の方は一度会ってそのまま自然消滅。会った時の感触は悪くなかったのに、その後のやり取りが上手いかなかったようで。東京でもそうでしたが消極的なf男性が多いのかなー?、って印象です。

で、2人目。最初は「(周りには)おらんあ」って言っていた子から、1か月後に「だんなの後輩くんていたわ!」って連絡あり。1回目の顔合わせはなんかええ感じやったようで。でもそのあと、次会うまでがなかなか決まらんかったりして、「そんなのんきでええんか!」と兄はちよっとやきもきしましたが、5回会って正式に付き合うことになりまして(笑)。春に出会って、その年の12月にはプロポーズ!

8つ下ともなると、私が19で大学行き出した時にはまだ11歳。そして、25で東京に働きに出た時に17歳。なんかいつの間にやら大きくなったような妹ですが、なんとなく妹のような娘のような(笑)。

そうそう、東京でもう一人婚活手伝うことに。「アラフォーでいい人いませんか?」(笑)。(半分本気の問い合わせです)

上記、店主の中学同期の女性(なので、辰年生まれの今年43歳)が二人とも東京で独身です。訊かなかったら、「えっ、まだ結婚してへんかったの!」とびっくりな感じの素敵な人たちです。

アラサーだった妹より、アラフォーとなるとぐっとハードルは上がるようで、ほいっと出会いは来ないようですが、よき縁が来ますように。